

第8章 充実した学習のために

1. シラバスとは

シラバス (Syllabus) とは、授業計画のことです。授業科目のガイドブックで、これを読むと、授業のやり方や内容、達成目標 (何ができるようになるのか) が明確にイメージでき、履修するかどうか、履修するとすれば何年次か、などの判断に役立ちます。また、教科書や参考書の紹介、予習・復習の必要性なども書かれていて、自立的な学習への意欲が高まり、受講の成果を十分にあげられるような工夫が可能になります。

シラバスの内容が適切であることは、教育の質が高いことを示す一つの証と言えます。

2. シラバスの利用方法

シラバスには、「科目名」「単位数」「担当者名」「授業の目的・到達目標」「授業概要」「授業計画」「成績評価の基準」「教科書」「参考書」「備考・その他」「予習・復習」の順に授業に関する必要事項が明示されており、受講科目の内容がわかるようになっています。よく読んで有効に活用してください。

〔受講科目を登録する前に〕

選択科目を登録する時に、科目名だけで判断するのではなく、「授業概要」、「授業の目的・到達目標」、及び「授業計画」をよく読んで、自分の学ぼうとしている科目がどのようなものであるかを確認してください。さらに自分の能力、興味、関心、将来の進路なども考え合わせて、どの科目を履修すべきかを決めてください。

〔受講の前に〕

「授業計画」には授業開始から終了までの計画が示されていますので、授業全体の進捗や展開の流れを知る上で参考になります。授業を受けようとする時、前もってその「授業計画」を知っておくと、学修効果が一層高まります。また、「予習・復習」には、予習や復習の内容等が示されているので、参考にしてください。準備しておくべきもの、留意事項等についてあらかじめ知っておくことが大切です。受講の前には必ず確認してください。

〔受講中〕

シラバスは担当者が前もって作成するものですから、学修の状況によっては、授業の内容や進捗などが修正されることもありますので注意してください。

〔受講の後に〕

受講後に授業内容を復習する時、ノートの整理をする時などにもう一度読み返してみることも必要です。また、授業を欠席した場合にも、その時の授業が何についてであったかを把握できます。

〔卒業後に〕

卒業後、就職や進学をする時の提出書類に、在学中に履修した科目内容について記載を求められることがあります。受講した科目のシラバスを印刷し、大切に保管しておいてください。

3. 本学のシラバス取組の姿勢と特色

本学では、『シラバス作成要項』を作成し、全教員はそれに基づいてシラバスを作成するようにしています。その特色は以下のとおりです。

1. シラバス作成の目的

シラバスの目的を明示し、全教員で共有するようにしています。

2. 事前及び事後に受講して欲しい科目等
履修の順序性及び科目の関連性を踏まえ、授業を位置づけ、設計するようにしています。
3. 授業の到達目標
学習者の側に立って、達成可能な現実的なレベルの行動目標を「…できる」等の表現で掲げています。また、到達目標は、「知識・理解」、「技能（技術・能力・スキル）」、「態度」の3つの領域の観点を踏まえて設定するように配慮しています。（どの領域に重きを置くかは授業によって異なります。）
4. 授業の目的
授業の目的は、教育目標、修得すべき能力、学位授与の方針等との関係を参考に、記述するようにしています。
5. 授業の概要
授業の概要は、抽象的・専門的な用語をなるべく避け、わかりやすく、具体的に記述するようにしています。
6. アクティブ・ラーニングの活用の明記
アクティブ・ラーニング（能動的学修）とは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を指します。今日の大学教育は、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業への転換が求められています。本学は、アクティブ・ラーニングに積極的に取り組んでいます。そこで、アクティブ・ラーニングを行っている授業では、授業概要にその旨を記載し、学生にもわかるようにしています。
7. 地域に関する学習の明記
今日、大学には地域を志向した教育・研究・社会貢献が求められています。本学は、すべての人の幸せ・生きがいをめざすという広い意味での福祉の理念のもと、地域共創（大学の持つ資源を活用して、地域のニーズに応え、地域の持つ新たな価値を創造し、共に地域の再生・活性化をめざす）に積極的に取り組んでいます。そこで、地域に関する学習を行っている授業では、授業概要にその旨を記載し、学生にもわかるようにしています。
8. 予習・復習
予習・復習等について示し、事前に学習の準備をして授業に臨めるように、また事後に知識・理解や技能、態度を確認し深めることができるようにしています。
9. 成績評価の基準
授業の到達目標をどの程度達成できたかを、「知識・理解」、「技能」、「態度」の3つの観点を踏まえて多面的に評価し、その配分割合を明記するようにしています。また、適宜、評価基準を示すようにしています。
10. 授業計画
到達目標の達成に必要な、「知識・理解」、「技能」、「態度」を獲得し、さらに深めてゆくことができるように、順序よく計画を立てるようにしています。また、1回毎の授業の概要をわかりやすく短文で示すようにしています。
11. 教科書・参考書
授業やその学問領域への興味・関心を高めるもの、自ら学ぶのに役立つもの、さらに学びを深めるために有用なもの等を、教科書か参考書かを明確に区別して紹介しています。
12. 第三者による確認
シラバスが適切かどうか、毎年の入稿時に第三者（教務課及び総合企画室）が確認を行うようにしています。

東海学院大学への編入学

1. 編入学とは

ここでいう編入学とは、東海学院大学短期大学部の卒業生及び卒業見込者が、東海学院大学3年次又は2年次に入学することです。

2. 募集について

下表の学部・学科及び受入学年は、平成29年度編入学生の募集であり、東海学院大学短期大学部からの編入学を優先に受け入れます。

短期大学部より編入学を受け入れる 学部・学科		受入学年
健康福祉学部	総合福祉学科	3年 2年
	管理栄養学科	3年 2年
人間関係学部	心理学科	3年 2年
	子ども発達学科	3年 2年

※ 東海学院大学、同短期大学部の卒業生及び平成29年3月卒業見込者が対象です。受入学科によっては、学年を2年次編入とする場合があります。

※ 免許や資格を取得するには、本学が指定する科目を履修する必要があるため、編入学後の2年間又は3年間で取得できない場合があります。免許や資格取得の詳細は、本学入学試験課までお問い合わせください。

3. 編入学選抜試験について

編入学の選抜は、主に面接試験と短期大学部在籍時の成績によって行われます。

詳細は『入学試験要項』を参照してください。

[検定料・入学金]

- ・ 入学検定料 35,000円
- ・ 入学金 200,000円

4. 編入学前の既修得単位の認定

〔認定方法〕

成績が確定する3月中旬頃、短期大学部で修得した単位をもとに編入学生を受け入れる学科で単位認定を行います。

科目区分	認定方法
教養教育科目 専門教育科目	原則として包括認定 ※1 学部学科又は科目により個別認定をする場合があります。 教養教育科目の「外国語科目」「体育科目」は個別認定します。
教職課程科目	大学で認定できる科目を個別認定 ※2 ・ 個別認定した単位の合計が、学生個々に認定した資格課程科目の「卒業要件に算入できる単位数」に満たない場合は、個別認定できなかった科目をその「卒業要件に算入できる単位数」まで包括認定します。

※1 包括認定…… 科目ごとの認定ではなく、科目区分ごとに単位をまとめて認定します。包括認定された単位は、次の科目名で表示されます。

科目区分	科目名
教 養 教 育 科 目	教養科目又は学部共通科目（編入学・転学等）
専 門 教 育 科 目	専門科目又は学部教育科目（編入学・転学等）
資 格 課 程	資格課程科目（編入学・転学等）

※2 個別認定…… 科目ごとに単位を認定します。

【注意】1 認定された単位の「評価」は、秀優良可評価ではなく「認定」「教認」と表記されます。「教認」は、教職課程科目として認定されたものです。

2 認定された教職課程科目には、卒業要件に算入できる単位数に上限があります。上限以上の単位は、卒業要件単位に加算されません。

〔卒業要件単位に算入する上限認定単位数〕

卒業要件単位に算入する単位は審議により、

2年次編入では、個別認定及び包括単位認定を含めて32単位が上限となります。

3年次編入では、個別認定及び包括単位認定を含めて62単位が上限となります。

5. 編入後の卒業要件及びカリキュラム

	卒業の要件	カリキュラム
3年次編入学	<ul style="list-style-type: none"> 編入学後の修業年限は2年。編入学後の在学年限は、休学期間を除いて4年を超えることはできません。 卒業までに修得すべき単位数は、編入時に配付される学科別の履修のてびきによります。 	平成26年度入学者対象のカリキュラムを参照することになります。
2年次編入学	<ul style="list-style-type: none"> 編入学後の修業年限は3年。編入学後の在学年限は、休学期間を除いて6年を超えることはできません。 卒業までに修得すべき単位数は、編入時に配付される学科別の履修のてびきによります。 	平成27年度入学者対象のカリキュラムを参照することになります。